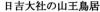
# 石積みの門前町 "近江·坂本" 2020年11月25日 (水)







穴太衆積の石垣道

自然の趣をそのままに 造形美と堅牢さを極めて 時を超えて脈々と受け継がれる 伝統の技と心 安土城築城から四百年 鍛え抜かれた匠のこころ 古式特技法 穴太流穴太衆石垣石積み

### <石垣の町>

石積みの技術そのものは古い。

古墳の玄室構造が、高度に技術的な石積みであることは知られている。また西日本各地の山中に、古代の石垣が残っている。かつては神籠石といわれて宗教的な遺跡かといわれたが、いまでは朝鮮式山城の跡だろうという考え方がつよくなっている。

山の斜面に石垣を築き、棚を造るようにして水田を築造するやり方は、上代から行われていたにちがいない。 (中略)

最澄の死後、比叡山における建造物の造営は、平安期を通じて営々と続けられた。そのために石垣技術は大いに発達し、その技術者たちが山麓の穴太に集まったのかと思われる。

「穴太衆」という独特の技術集団が形成され、新工夫が次々に出て、天下に知られるようになったに違いない。 ついでながら中世の山城は構造的には粗末なもので、多くは堀を掘った土を掻きあげて土塁をつくり、土塁は版築 でたたきかためるという程度の掻上城(土塁)であった。

石垣が殆んど用いられなかったのは、山田の石垣畦ぐらいの技術なら在所-在所にあったとしても、壮大な構造物としての石垣を作る技術者は、近江の叡山山麓の穴太へでもゆかない限り、そうざらにはいなかったに違いない。 城郭をつくるのに石垣を層々と築く様式が圧倒的に流行するのは、織田信長の安土城以後であったかと思われる。

## 司馬 遼太郎 街道をゆく(16) 叡山の諸道』

## <公人屋敷>

江戸時代、延暦寺の僧侶でありながら妻帯と苗字帯刀が認められた「公人」と呼ばれる人が住んでいた屋敷跡。 < **旧 行林院**>

庭内には、地形を巧みに利用した桃山様式の庭園を持つ代表的里坊。四季を通じて風情を醸し出している。

### <西教寺>

聖徳太子創建の古寺。信長の叡山焼討後、明智光秀により復興される。伏見桃山城の遺構や明智一族の墓がある。 〈日ま大社〉

最古級の神社で、山王鳥居が特徴。広大な境内は紅葉の名所として知られる。東本宮・西本宮共に本殿は国宝。

#### <日吉東吳宮>

日光東照宮の雛型として造られる。西日本随一の絢爛豪華な東照宮で、関西の日光として知られている。

#### <慈眼堂>

比叡山再興に尽くした慈眼大師・天海を祀る。蘭。境内には、桓武天皇・徳川家康・紫式部などの供養塔がある。

# <磁質院門跡>

◆集合地:JR「汝木」駅 8 時 30 分(時间厳守) 汝木8:37→9:09 京都 9:14→9:33 比叡山坂本

◇順 路:「比叡山坂本」~公人屋敷~生源寺~大将軍神社~西教寺~旧行林院~(昼 食)~

日言大社~日言東巡宫~慈眼堂~滋賀院門路~京阪「城本」(17 時頃解散)

- ◇定 員:25~30 名
- ◇参加費: 壹料(会員外は資料代100円)

※会員には、会より1,000円の補助あり。

◇拝観料:1,500円(公人屋敷-画教寺-旧行林院-日言大社-滋賀院門跡など)・・・団体割引料金

◆食事処:芙蓉園本館(日吉大社前) EL077-578-0567 石積み御膳 3,300 円(13:00~)

※飲み物は各自負担。

◇中込先:「街 ing 茨木」代表·阪田浩 (080-1436-9881)

※会員外の参加、大歓迎!

Tel&Fax/072-627-3480 E-mail/ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

※本会行事は、自由参加です。不側の事故・傷害などは、自己負担でご対応ください。